

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
 担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道477号 四日市湯の山道路（延伸） <small>よっかいちゆのやまどうろ（えんしん）</small>		事業区分	一般国道	事業主体	三重県
起終点	自：三重県三重郡菟野町潤田 <small>みえ こもの うるた</small>			延長		
	至：三重県度会郡菟野町音羽 <small>みえ こもの おとわ</small>			1.9 km		
事業概要 国道477号は、三重県四日市市を起点とし、滋賀県、京都府を経て大阪府池田市へ至る202kmの幹線道路で、県内では菟野町と四日市市を連絡し、地域の東西軸を構成する道路です。 三重県北勢地域においては、第二名神高速道路や東海環状自動車道などの高速道路網の整備が進むなか、当路線は、第二名神高速道路、東名阪自動車道の2つの高速道路と四日市の市街地を結び新たな広域ネットワークの構築をはかります。 四日市湯の山道路「延伸工区」は、バイパスとして現在事業化されている9kmの区間のうち、国道306号から菟野IC（仮称）までの1.9kmの区間です。 当該工区の整備により、第二名神高速道路の菟野IC（仮称）と接続することから北勢地域の道路利用者の利便性の向上、産業の生産性の向上をはかるとともに、社会生活圏の拡大をはかり、地域の発展に大きく寄与するものと期待されています。						
H12年度事業化		H6年度都市計画決定		用地未着手		工事未着手
全体事業費		約70億円		事業進捗率		1% 供用済延長 0 km
計画交通量		11,588 台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	7.3	51億円 （事業費：49億円 維持管理費：2億円）		371億円 （走行時間短縮便益：347億円 走行費用減少便益：18億円 交通事故減少便益：5億円）		平成16年
事業の効果等 ・物流効率化の支援...特定重要港湾四日市港へのアクセスが見込まれる。 ・個性ある地域の形成...主要な観光地へのアクセス 他5項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 四日市インターアクセス道路整備促進期成同盟会（構成：四日市市、菟野町）、国道477号（四日市～竜王間）整備促進期成同盟会（構成：四日市市、菟野町、他滋賀県沿道市町村）が結成されており、事業促進が強く望まれている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 当事業と併走、接続するため、事業調整が必要な第二名神高速道路の状況は、高速道路整備について、平成13年度から建設見直し議論があるなか未着手の状況である。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 本年度末で事業進捗1%であり基礎調査を実施中。今後も第二名神と整合させながら着工に向けた調査の必要がある。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 第二名神高速道路の事業遅延に伴う影響。現在、今後の高速道路整備手法が整理されつつあり、また、平成16年6月には暫定2車線から暫定4車線の位置づけとなったことなどから、着工に向けた環境が整いつつある。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図 						